

開成町

洪水ハザードマップの活用を

神奈川県では、水防法の改正により、町内を流れる二級河川である酒匂川、要定川、仙了川の「浸水想定区域」を指定・公表しました。

町では、各河川の浸水想定区域の浸水情報をもとに洪水ハザードマップを作成しました。

開成町洪水ハザードマップは広報かいせい4月号とあわせて配付します。

ぜひ、ご活用ください。

環境防災課
☎84・0314

開成町洪水ハザードマップとは

酒匂川、要定川および仙了川が大雨で増水し、氾濫した場合、浸水する範囲と浸水の深さや避難所などを示した地図です。

50年〜100年に1回起こる可能性のある大雨による氾濫の浸水状況や避難に関する

情報を事前に知らせることで、被害を最小限に抑えることを目的としています。

なお、地図に色表示した浸水想定区域以外のところでも降雨の状況によっては浸水の恐れがありますので、注意してください。

避難する場所

地域避難所：各地区の自治会館や公民館で、災害が発生したときに最初に開設される避難所です。

広域避難所：災害の危険性が拡大し、地域避難所に収容しきれない場合や浸水の状況により、地域避難所への避難が困難な場合に開設されます。

要援護者用拠点施設（福祉会館）：要援護者など避難所での共同生活に支障のある方の避難所として開設されます。

※緊急時や万一逃げ遅れた場合は、最寄りの2階建以上の丈夫な建物に避難しましょう。

情報の提供

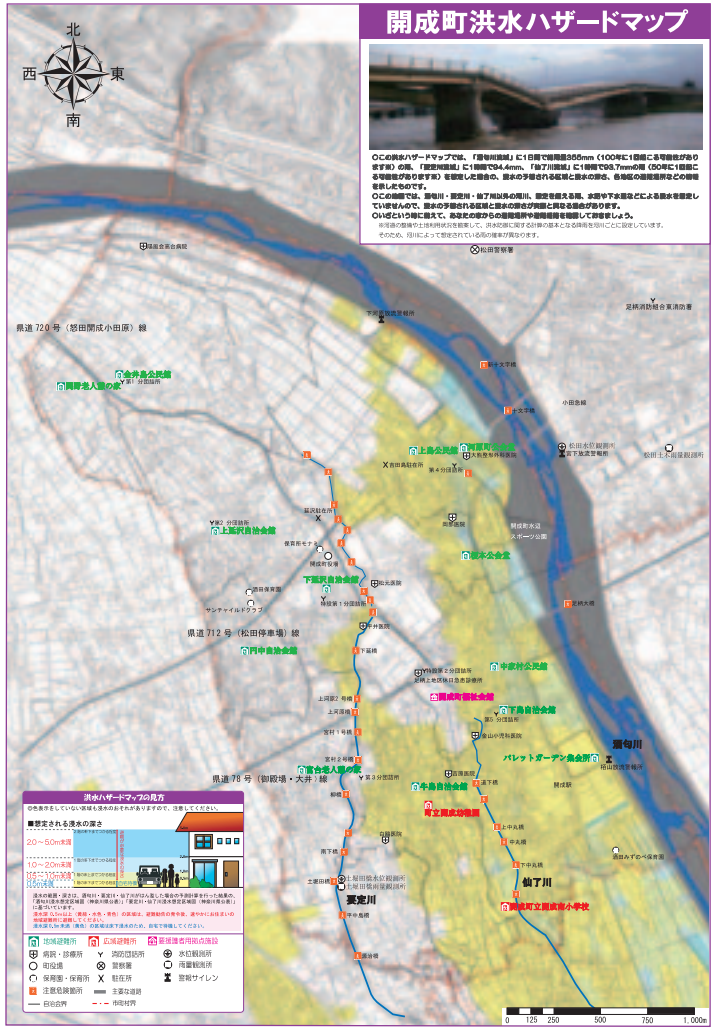
災害時には、正確な情報が確実に伝わり迅速な避難行動に結びつくことが最も重要です。避難時などの情報の伝達は、町の防災行政無線でお知らせします。大雨のときには聞こえにくい場合がありますので、広報車や消防車などで巡回広報も実施します。町から避難勧告や避難指示が出された場合は、「まだ大丈夫」などと自己判断せずに、速やかに避難してください。

また、テレビやラジオのほ

かに、神奈川県のホームページでも雨量や水位情報を見ることができまますのでご利用ください。

ハザードマップを活用しましょう

- ①ハザードマップを見て自分の家印をつけましょう。
 - ②自分の家がどのくらい浸水する可能性があるか知っておきましょう。
 - ③自分の家から避難所までの安全な経路を確認しておきましょう。
 - ④避難時の心得をよく理解して、正確に情報を収集し、いざというときに自主的に避難できるようにしましょう。
 - ⑤ハザードマップはいつでも目につくような場所に保管しましょう。
- また、家族や地域で災害に遭った場合の対応について話し合っておきましょう。



4月から (J・A・L・E・R・T) 全国瞬時警報システム 運用の開始

大地震などの緊急情報を受信し、自動起動で町の防災行政無線から放送する全国瞬時警報システム(J・A・L・E・R・T)の運用を4月から開始します。

環境防災課
☎84・0314

◆全国瞬時警報システムとは

このシステムは、大規模な地震や外部からの武力攻撃など、対処に時間的余裕のない緊急事態が発生した場合、国(消防庁)から人工衛星を経由して送信される緊急情報を、町防災行政無線の自動起動により、町内22か所に設置されている屋外スピーカーや一般家庭の戸別受信機を通じて、瞬時に伝達するシステムです。

◆緊急情報の種類

○緊急地震速報
地震は、P波と呼ばれる小

さな揺れのあと、S波と呼ばれる大きな揺れが来ます。

緊急地震速報は、このP波をとらえ、地震の規模や震源地を予測し、最大震度が5弱以上と推定した地震の際に、震度4以上の地震が起こることが予測される地域に、数秒から数十秒後に強い揺れが来ることを知らせます。町防災行政無線からの放送内容は、チャイム音のあとに、「大地震です、大地震です」と放送が流れます。

○東海地震予知情報

東海地震の発生の恐れがあると判断した場合に発表される情報で、警戒宣言発令の放送が流れます。

○有事関連情報

弾道ミサイルの発射や航空攻撃、ゲリラや特殊部隊による攻撃、大規模なテロによる攻撃情報を放送します。

○その他の緊急情報

・震度速報
・火山噴火警報など

◆緊急情報が放送されたら (緊急地震速報の場合)

強い揺れが来るまでわずかな時間しかありません。身を守ることを第一に落ち着いて行動することがたいせつです。

*屋内の場合

- ・頭を保護し、大きな家具から離れて、丈夫な机の下などに隠れる。
- ・あわてて外へ飛び出さない。
- ・その場で火を消せる場合は、火の始末をする。
- ・扉を開けて避難路を確保してください。

*屋外の場合

- ・ブロック塀などの倒壊に注意し、そばから離れる。
- ・ビルの壁、ガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。

*自動車運転中の場合

急ブレーキをかけずに、緩やかにスピードを落とす。大きな揺れを感じたら急ハ

ンドル、急ブレーキを避けるなど、できるだけ安全な方法で道路状況を確認して、左側に停止させる。

全国瞬時警報システム(J・A・L・E・R・T)による伝達 (緊急地震速報の場合)

